

# 18歳榊原 五輪切符

あと88日  
ロンドン五輪

## 男子 武田・浦 女子 岩本・福本



女子シングルスカルで五輪出場を決め、花束とメダルを手にする榊原春奈＝忠州で（共同）

## 競技歴3年物語は「これから」

ゴール手前で韓国選手の猛追を受けた榊原は「こぎの大きさがストロングポイント。形を崩さないように」と胸の中で唱えたという。0秒257差で何とかしのいだ。女子シングルスカルで日本勢初の五輪出場を決め「コーチや親、皆さんのおかげで出場できることに感謝したい」と笑顔で輝かせた。

### 女子Sスカル

5位以内で五輪は決まると五輪への課題と捉えた。両親ともに元ボート選手で、愛知・旭丘高時代に競技を始め、競技歴はわずか約3年。その榊原が日本が苦戦していた、体重制限のない種目で扉を開いた。スケールの大きなこぎと同様、ゆったりとした口調で「実感はない。自分はまだまだこれから、という気持ち」と語った。（共同）

榊原 春奈(さかきばら・はるな)＝ボート女子シングルスカル) 愛知・旭丘高時代に競技を始め、11年世界ジュニア選手権7位。早大1年。182㌢、73㌔。18歳。宮城県出身。

ボート五輪アジア予選【忠州(韓国) 共】同】ボートのロンドン五輪アジア予選最終日は29日、当地で各種目の決勝を行い、日本スポーツ仲裁機構への申し立てを経た。▶関連26面

女子シングルスカルでは18歳の榊原春奈(早大)が1位となり、同種目で日本勢初の五輪出場を決めた。同軽量級ダブルスカルは福本温子(明治安田生命)岩本亜希子(アリスオーヤマ)組も1位で、23歳の福本は初、33歳の岩本は4大会連続の五輪出場を決めた。

### 榊原は大器の予感

阿部肇ヘッドコーチの話 武田、浦組は短い調整期間だったが、アテネ、北京の貯金を生かしてくれた。榊原は大器と感じさせられた。歴史を開いていく選手になる。残り500㌔逆転

〇：福本、岩本組は1000㌔の中間地点では4番手だったが「周りが飛ばしてくるのは覚悟していた」(岩本)と慌てなかった。残り500㌔からのスパイクで逆転し、1位でゴールした。4大会連続出場となる

## 武田組格の違い

ゴールをこぎ抜ける思いを口にした。武田は艇の上で静かに浦と握手を交わした。曲折を経てようやく決めた五輪出場。3位以内が条件で、後続に6秒以上の差をつけて圧勝したにもかかわらず「ほっとしている。絶対はないと思っていたので」と率直な人が、不可解な基準で代

武田 大作(たけだ・だいさく)＝ボート男子軽量級ダブルスカル) 5輪は96年アトランタ大会から4大会連続出場。最高成績は00年シドニー、04年アテネ大会の6位。愛媛県出身。

浦 和重(うら・かずしげ)＝ボート男子軽量級ダブルスカル) 武田大と組んで04年アテネ五輪で6位、08年北京五輪は13位。日大出、NTT東日本。180㌢、70㌔。36歳。福岡県出身。

岩本は、過去3大会で14位、13位、9位と徐々に順位を上げている。「女子初の入賞を狙う」と意気込み、初出場となる福本は「レースを楽しみたかった」。コンピネーションを正確にし、完成度を上げれば入賞の可能性はある」と話した。(共同)

岩本 亜希子(いわもと・あきこ)＝ボート女子軽量級ダブルスカル) 五輪は00年シドニー大会から3大会連続出場し、08年北京大会で自己最高の9位。日体大学院出、アリスオーヤマ。173㌢、57㌔。33歳。長野県出身。

あつみ＝ボート女子軽量級ダブルスカル) 10年広州アジア大会で岩本亜希子と組んで銀メダル。佐賀・唐津商高出、明治安田生命。169㌢、57㌔。23歳。佐賀県出身。

このコンプレックスで臨んだ五輪はアテネで6位に入賞したが、北京では浦がぜんそくになり13位に終わった。文句なしの実力で、悲願のメダルへの挑戦権をつかみ取った武田は「五輪の借りは五輪で返さないといけない」と強いまなざしを言った。(共同)